

生誕130年・「旧西村家住宅」築100年記念 特別展<新宮展>

# 大正の理想 西村伊作 その生活と芸術

明治末から大正期にかけて、西村伊作（1884～1963）は新宮の伊佐田に居を構え、洋式の導入を中心とした様々な生活改善を試みる日々を送りました。そして、その経験を全国に発信し大きな反響を呼んだのでした。本特別展は、このような伊作の活動を紹介するとともに、新宮で初公開の絵画作品などを展示します。

なお、本展は本年6月から11月までルヴァン美術館で開催の企画展を精選し開催するものです。



伊作 明治41年頃



旧西村家住宅



勝浦の裏浜

会場

重要文化財 旧西村家住宅(西村記念館)

新宮市新宮字上熊野7657番地(JR新宮駅から徒歩5分、駐車場2台) TEL 0735-22-6570

期間

2014年11月21日(金)～12月17日(水)

開館時間

9時～17時

入場料

100円

休館日

月曜日(ただし11月24日は開館し、11月25日が休館)

〈展示説明会〉 11月30日(日)13:30～(田中修司さん／建築史家)



ルヴァン美術館

ルヴァン美術館は、西村伊作が設計し創立した「文化学院」を再現し1997年に長野県軽井沢町に開館した美術館で、伊作や彼と交流のあった芸術家たちの作品を所蔵しています。現在、館長は伊作の四女ソノ西村ベガートさん、副館長は孫の木田三保さんが務めています。

主催 新宮市教育委員会、新宮市文化協会、熊野芸術文化セミナー